

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：岡山県
農業委員会名：美咲町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)
総農家数	2,004	農業就業者数	4,635	認定農業者	73
自給的農家数	706	女性	2,323	基本構想水準到達者	
販売農家数	1,298	40代以下	1,285	認定新規就農者	8
主業農家数	378	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	9
準主業農家数	98			集落営農経営	9
副業的農家数	822			特定農業団体	
				集落営農組織	9

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1,760	440				2,200
経営耕地面積	1,041	188	125	44	19	1,417
遊休農地面積	5					5
農地台帳面積	2,241	776				3,017

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 R 5年 7月 19日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	18	18			
認定農業者	—	6			
認定農業者に準ずる者	—	4			
女性	—	1			
40代以下	—	0			
中立委員	—	1			

農地利用最適化推進委員	28	28	67
-------------	----	----	----

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令3年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2,200ha	318ha	14.45%
課 題	農家人口、農業就業人口の減少、さらに高齢化も進んでいる。とりわけ中山間地域では、小規模・高齢化集落の割合が高く、労働力不足があげられる。認定農業者を主とした担い手を確保する必要がある。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 334ha (うち新規集積面積 20ha)
	目標設定の考え方:農業経営基盤強化促進法に基づく基本構想には、具体的な数字目標が設定されていないため、昨年度実績よりやや増の集積を図る。
活動計画	関係機関及び農業団体が一体となって「人・農地プラン」の取り組み、担い手へ農地利用集積を推進する体制を整備するとともに、農地利用集積円滑化事業、農地中間管理事業等を活用しながら農地の利用集積を促進する。

- ※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入
※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入
※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	18 経営体	8 経営体	5 経営体
	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積
	9.2ha	4.3ha	3.6ha
課 題	本町の農地は、中山間地域の大半が不整形の棚田であるため、小規模な農家が農地管理を行っている。今後、農家の高齢化、後継者不足について、非常に深刻な状況にあるため、美咲町農業後者を中心に集落営農組織の育成、新規就農者のさらなる育成、定年帰農者の確保を進めるとともに、生産性の高い営農体系の確立が必要である。		

- ※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)
※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	5経営体	参入目標面積	5ha
活動計画	町のブドウ栽培技術講習会「濃農クラブ」の開催や、就農希望者に対する就農関連情報(農地情報、各種事業等)を、農協、中間管理機構等、関係機関の連携強化に努め、新規就農者の確保を目指す。 また、新たな担い手の確保から、空き家等情報バンクを通じた農業に関心のある移住希望者に定住促進と農業者としての育成を図る。		

- ※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入
※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	2,205ha	5ha	0.226%
課 題	農業者の高齢化、後継者不足、農産物の価格低下や山間地域の耕作不便農地も多く、今後も増加すると思われる。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 0.5 ha 目標設定の考え方:美咲町耕作放棄地再生利用推進計画に基づく、年度ごとの事業計画による面積。		
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		28 人	8月～10月	11月～1月
		調査方法	農地パトロールの実施による実態把握および所有者等に対する指導等	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		12月～1月	2月～4月	
	その他			

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
- ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
- ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	2,200ha	0ha
課 題	山間部は地元農業者の目も行き届かないため、違反転用の発見が遅れがちであり、重点的な監視活動が必要である。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	広報紙等により住民に対し違反転用が犯罪であることを周知。 リーフレット等で農業者に対し、違反転用情報の農業委員会への提供を呼びかけるとともに、農地パトロールを実施する。
------	---

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入